

◆ベンゲラ州5市で拡大 M&S を実施◆

2020年11月下旬～2021年1月上旬にかけて、ベンゲラ州5市（Cubal市、Balombo市、Bocoio市、Lobito市、Chongoroi市）にて、拡大M&S（モニタリング&スーパービジョン）を実施しました。今回が、新型コロナウイルス感染拡大後、ルアンダ州以外での初めての拡大M&Sの実施となりました。国家公衆衛生局や日本人専門家の同行も、ルアンダ州からのローカルスタッフの同行も叶わなかったため、ベンゲラ州保健局とは事前にオンライン会議を何度も行い、拡大M&S実施の目的確認やチェックリストの読み合わせ、新型コロナウイルス感染症対策方法、ロジの確認等の一つずつ行いました。ベンゲラ州保健局からは、Dr. Algimira、Dr. Angelina、Dr. Quiaza、Dr. Vandaが参加しました。各市3日間という短い日程でしたが、合計60施設の状態を確認できました。

ベンゲラ州は新型コロナウイルス感染拡大の影響により、2020年3～5月頃は診察を中止している保健施設がありましたが、今回実施した拡大M&Sでは、診察を中止している施設はほとんどなく、感染対策を取りながら、診察が実施できていることが確認できました。手指衛生や母子健康手帳の記入などで課題も見つかったので、ベンゲラ州保健局と一緒に今後の研修やM&S等で解決に向けて取り組みを行っていきたいと思います。ベンゲラ州保健局の職員の方々は保健施設の状態や写真をWhatsAppで毎日送って下さり、地方の保健施設の状態を知れるとても良い機会となりました。州保健局による拡大M&S終了後は、各市の保健局の母子健康手帳のフォーカルポイントが継続して拡大M&Sを実施できています。



今後のベンゲラ州での活動予定

プロジェクトでは2018年にベンゲラ州の5市（Cubal市、Balombo市、Bocoio市、Lobito市、Chongoroi市）で母子健康手帳の導入研修を行い、手帳の配布が開始されました。残りの5市（Benguela市、Baia Farta市、Catumbela市、Caimbambo市、Ganda市）においては、新型コロナウイルス感染拡大の影響で、導入研修の開催が延期となってしまっていました。これら5市においても、2021年4月頃から導入研修が実施できるように、準備を進めています。2021年中には、ベンゲラ州の全ての市での母子健康手帳の導入を目指しています。



2021年中にベンゲラ州全土で母子健康手帳の配布を開始予定